

はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2014年10月発行

9月の中旬あたりから涼しい日が続いています。のど元過ぎればナントカ・・・で、もう暑かったときのことを思い出せません。皆さん、体調管理には十分気をつけて、カラダが元気、ココロも元気で、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋を楽しんでくださいね。

10月中旬からは「さんかくカレッジ2014」市民企画講座も始まります。皆さんのご参加をお待ちしています。

今年度も各地区において

「防災とまちづくり、そして男女共同参画」

に関する取り組みを進めます。



男女共同参画課では、地域の中での男女共同参画をすすめるために、自治会へのアンケート調査をはじめ、地域活動で女性が活躍するために何が必要か、また何が出来るかを地域住民同士で話し合う機会を持つという取り組みを、市民団体と行政、自治会と協働して進めてきました。

さらに、昨年9月からは、地域での女性の活躍促進が必要であることを、防災を切り口に地域の中で考えていこうという取り組みを始めました。この取り組みも、NPO 法人四日市男女共同参画研究所を中心に、地域住民や県内で活動する市民団体、男女共同参画課と一緒に取り組みを進めていこうというものです。

まずは、災害用の備蓄や避難所運営など具体的な取り組みを進める際に、常に男女共同参画の視点が必要であること、またそれは平常時からの男女共同参画の推進が基礎となることを市民と一緒に考え、実践につなげていきたいという思いを込めた取り組みを、今年度も各地区で、継続して行っています。

平成26年度のこれまでの取り組みについては、以下のとおりです。この事業の趣旨に賛同し、行事にご参加いただける「応援団」も募集しています。詳しくは、「はもりあ四日市」まで、お問い合わせください。

「各地区での取り組み状況」

第1弾 7/26(土) 三重地区での取り組み

早稲田大学講師の浅野幸子さんをお招きし、地域活動やまちづくりにおいて、女性の視点が必要であるというお話を伺いました。その後、被災後の避難所運営などについて、グループ討議を行い、浅野さんから講評をいただき、講座への理解を深めていただきました。三重地区での取り組みについては、はもりあ73号(8月発行)にも掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

第2弾 9/27(土) 桜地区での取り組み

三重防災コーディネーター三瀬プロックの幹事・鈴木明美さんをお招きし、「東海・東南海・南海地震」に遭遇した際、防災・減災・避難所運営に女性の視点が必要であるということを考えていただくための勉強会を実施しました。

第3弾 9/29(月) 常磐地区での取り組み

NPO 法人四日市男女共同参画研究所の代表理事・坂倉加代子さんをお招きし、NPO 法人四日市男女共同参画研究所が昨年度、内閣府の委託を受け、男女共同参画課などと協働して進めてきた、地域の防災活動に女性の参画を進める取り組みや、女性が意思決定の場に参画していくことが必要であるということなどについて、お話をいただきました。

“チャレンジショップ” あなたの、手作り作品を販売してみませんか？



いつか……
起業してみたい！

家事や育児など家庭も
大切にしたい、でも自分
の夢も実現させたい！

手作り品を通してネット
ワークをつくりたい！

【開催日時】：平成27年2月21日（土）10：00～15：00

【会場】：本町プラザ 1階ホール他

【内容】：「はもりあフェスタ」（20日～22日）開催中に行う、
手作り品（パッチワーク、アクセサリーなど）の販売
ネイルアート・マッサージ・ランチサービスなどの提供

【申込方法】：平成26年11月25日（火）までに
Eメール、FAXでお申込みください。

※募集数は30組程度です。

※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

（市内在住・通勤・通学の方を優先します）

※ 出店の可否は、12月2日（火）までに連絡します。

※ 託児あります。（有料、6カ月～小学3年生程度）

出店者募集

★プチ起業入門講座及び出店者説明会（出店者は必ず参加してください。）

平成26年12月13日（土）13：00～16：00

- ・参加費：無料
- ・託児：有（無料、6カ月～小学3年生程度）
- ・本町プラザ 1Fホール
- ・共同出店者の参加も可

“チャレンジショップ”の申込用紙は、はもりあ四日市、各地区市民センター、
又は「はもりあ四日市」及び四日市市のホームページからも入手できます。

報告 「ママ・主婦インターンシップ」説明会 が開催されました！

「ママ・主婦インターンシップ」とは、ブランク・スキル不足による不安や子育て・介護による時間への制約がネックになっている人でも、第一歩を踏み出せるように、中小企業で2週間から3カ月のインターンシップ（職場実習）を行い、仕事の勘と自信を取り戻してもらうことを目的としたもので、経済産業省と中小企業庁主催で実施しています。その「ママ・主婦インターンシップ」説明会が、9月12日に「はもりあ四日市」の会議室で開催されました。

当日は、インターンシップ参加希望者への説明とコーディネート機関の担当者による全体説明会の後、参加者とコーディネート機関の担当者による個別面談が行われ、働くことへの不安や制約などについての

話がありました。今後参加者は、9月末からインターンシップを行います。インターンシップ終了後も、受け入れ企業側と条件などが合えば、職員として働き続けるといった事も可能になります。今後、さらに女性が社会で活躍できるように、柔軟な受け入れ体制が出来る企業が増えていってほしいですね。



【全体説明会の様子】



【個別面談の様子】

相談室
から

平成 26 年度はもりあ四日市 DV 防止講演会

STOP！デートDV

～防止のための基礎講座～

デートDVが何かを知ることから、私たちにできることを一緒に考えませんか。
子どもたちを、被害者にも加害者にもしないために。

いだ ひろゆき
講師 **伊田 広行**さん

11 月 13 日(木)

13:30~15:30 (開場 13:00)

四日市市総合会館

8階 第4会議室

※お詫びと訂正

広報よっかいち 9 月下旬号でお知らせしました時間
と会場が間違っておりました。お詫びし訂正します。

＝講師プロフィール＝

大学非常勤講師や「ユニオンぼちぼち」の執行委員、自殺防止センター相談員、デートDV防止ファシリテーター、女性センター男性相談員等を行っている。労働相談だけでなく、生活保護取得やその後の生活再建支援など生存支援活動に力を入れている。DV加害者教育プログラム・NOVO 主催。

- 定員 70人(定員になり次第×切)
- 参加費 無料
- 託児 無料(6カ月から未就学児程度まで、11月1日(土)までにお申込みください。)

◆お問合せ・お申込みは、はもりあ四日市まで

11月12日～25日は、
「女性に対する暴力を
なくす運動」期間です。



女性に対する暴力根絶
のためのシンボルマーク

今月のキーワード

パタニティーブルー

「パタニティーブルー」という言葉をご存知でしょうか。毎日新聞 8 月 28 日付の記事に書かれていたのですが、「パタニティー」は父性という意味で、母親が出産後などに自信喪失や涙もろくなったり、いろいろ感に襲われたりする「マタニティーブルー」の父親版で、子育てを行っている父親が精神的にまいってしまうことだそうです。

父親がどれだけ育児を頑張っている、いざというときには子どもは母親を頼ることから報われなさを感じたり、また、職場においてもまだまだ男性の育児参画への理解がなく、育児関連制度の利用をさせてもらえなかったりと、育児と仕事とのギャップが「ブルー」につながるそうです。

では、「パタニティーブルー」への対策としてはどうすればよいのでしょうか。新聞記事では、「子育て中に悩むのは親として当然と受け止め、夫婦でコミュニケーションを取り、互いの気持ちに共感しあう事」、「父親への産前教育や育児中のサポート体制の充実、また父親も育児ブルーになることの情報提供が必要」と書かれていました。

この言葉が生まれるということは、男性の育児参画が増えてきたということでしょうか。

男女
共同

さんかくeye^{あい}

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点[★]を通してね。

今回は、私(41歳男性)の子育て奮闘記です。

R君とK君はこの9月で2歳2か月になりました。

先日R君が40℃の熱を出し、寝込んでしまいました。病院で薬をもらい、2日程で熱が下がりもう大丈夫かなと思いきや、体中に発疹が。また、R君が尋常じゃないくらい泣き叫んで、なかなか泣き止まない。どうしたことかと急ぎ再度病院で診てもらおうと、突発性発疹とのこと。あれっ?以前に1度かかっていますけど…(-_-;) 先生によると、まれに2回かかる子もいて、機嫌が悪くなる副産物があるのだそうです。安心したものの、この副産物が曲者で、今回は看病よりも機嫌の悪さに四苦八苦しました。私が抱っこしてもジタバタとすごく抵抗され、妻にしか抱っこを許さず、結局妻がほとんどR君の相手をし、私はK君の相手と家事を担っていただけで終わってしまいました。今月のキーワードではないですが、やはり父親は母親にはかなわないのだなとつくづく感じました。

ちなみに、お約束通り、K君も1週間後に寝込んでしまいました。(T_T) 【育児ブルーに気をつけたい担当:Y】

登録グループイベント情報

10月25日(土) 父親の子育て相談(よかパパ相談)

「四日市市が認定した父親の子育てマイスターの修了生で、よかパパ相談員に登録された人がお子さんたちと一緒に遊んだり、気軽に子育ての話をしたりして子育てを応援するものです。」



時間 9:30～11:00 **場所** 大矢知保育園子育て支援センター

参加費 無料

問・申 四日市市役所こども未来部こども未来課 TEL:354-8038/FAX:354-8061

はもりあ四日市イベント情報

ジェンダー川柳募集!

「男なのに・・・」「女なのに・・・」「男だから・・・」「女だから・・・」と言われたことや、そのために悔しい思いや悲しい思いなどしたこと、また「これっておかしくない」と思ったことはありませんか？

皆さんが日々の生活の中で感じているその思いを「川柳」にしてみませんか？

(※川柳・・・俳句と違い、季語にこだわらず、口語体で自由に表現できます。)

応募期間 平成27年1月31日(土) 必着 **応募資格** 市内に在住、通勤、通学している方

応募方法 作品(川柳)、住所、電話番号、名前、性別、年齢を明記のうえ、「はもりあ四日市」に持参していただくか、郵送・FAX・Eメールでご応募ください。

その他 自作未発表の作品にかぎりあります。作品の著作権は四日市市に帰属します。



登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は



嬢 (はばたき)

さんです。

代表 林 やすこ

連絡先：090-4236-5034

E-mail：habataki@m7.cty-net.ne.jp

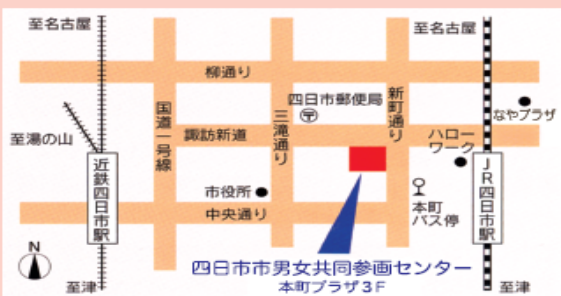
女性も夢をもってはばたこう!・・・「女夢(はばたき)」の由来です。

それぞれの生き方を認め合い、これからの人生を育んでいきたいと、身近な視点から男女共同参画や女性学の学習を重ね、調査や研修会などを企画・運営しています。現在のテーマは「住みなれた街でいきいき暮らす」。2014年の活動目標は…三つの場づくり。ひとつは つながる場【話す…共感する…情報交換するそして、つながる場へ】、二つめは” 学びの場【映画やメディアを活用して深める】、そして、三つ目は楽しみ場【得意をいかしてお楽しみ企画!】

5月には、上野森林公園へ出かけウォーキング。7月には、大人の一人芝居『ばあさんの一人語り』を開催しました。そして定例会(はばたきカフェ)はつながる場です。興味をお持ちの方は、ぜひ一緒に!

◎◎◎あとかぎ◎◎◎

“読書の秋”この言葉の由来は、唐の詩人韓愈^{かんゆ}が、「降り続く長雨がやんで、空がすっきりと晴れ渡り、郊外の丘では、秋を感じさせる涼しさを感じられる。そんな秋の夜長は、明かりをつけて、そのもとで読書するのに適した季節だ」と詠んだことに始まるとの一説もあるような…はもりあ四日市のホームページでは、毎月新刊図書をご案内しています。もっと毎日の生活の中で本に触れる機会を増やしてみたいかがでしょうか。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml>